

小田急中央林間駅整備計画

中央林間駅まち会議，平成29年 5月

第1章 小田急中央林間駅周辺地域における現状と課題

(1) 駅周辺地域の概況

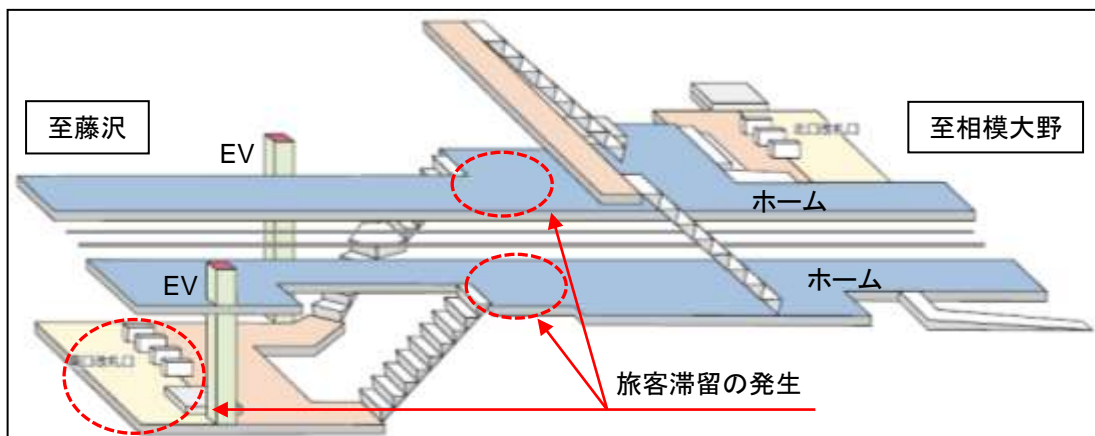
中央林間地区におけるまちづくり構想「中央林間地区街づくりビジョン」では、交通の課題として、駅南側連絡通路（小田急～東急）の混雑緩和や歩行環境の改善などが挙げられており、小田急中央林間駅の充実や交通結節機能の強化を進める必要がある。

(2) 駅周辺地域の現況

中央林間駅周辺の地域では年少年齢人口増加の見込み。および平成30年度完了予定の小田急小田原線複々線化整備（平成30年3月使用開始予定）により、駅利用者がさらに増加する可能性がある。

(3) 駅の概要

- ・ 駅構造（相対式2面2線の地上駅）
- ・ 1日平均乗降人員（2014年度：95,600人、2015年度：97,400人 対前年比+1.9%）



(4) 駅周辺地域の課題

- ・ 東急田園都市線への乗換え口の南口改札口付近、および駅ホームの階段付近は混雑時間帯において旅客滞留が発生しているため、コンコースの混雑、駅ホーム上での旅客の安全性向上が課題となっている。
- ・ 中央林間駅周辺は、子育て世代が多く住む地区であることから、子育て環境の更なる充実が求められており、保育所の整備が必要な状況にある。

第2章 小田急中央林間駅 整備計画

(1) 計画の範囲（区域）

小田急中央林間駅施設

(2) 基本方針（目標）

東側改札口の新設による東急田園都市線との新たな乗換動線の確保や階段移設・エスカレーター新設、ホーム拡幅によるホーム・コンコースの混雑緩和等、鉄道利用者の利便性・安全性の向上を図るとともに、地域のニーズにあった生活支援施設（保育施設）を整備することにより、駅機能の高度化を図る。

(3) 整備の考え方、整備内容

- ・ 東側改札口の新設
- ・ 階段移設・ホーム拡幅
- ・ エスカレーターの整備
- ・ 旅客トイレの改修
- ・ 保育施設の整備
- ・ ホームドアの整備

(4) 事業期間

平成29年～平成34年

(5) 事業主体

小田急電鉄株式会社